

平成 19 年度  
広報活動実践講座 実施報告

平成 19 年 12 月



社団法人コンピュータソフトウェア協会

---

---

## 目次

---

---

・ 講座概要 .....	2
・ 講師所感 .....	3
・ 講座内容 .....	4
・ 受講者アンケート集計結果 .....	6
・ 受講者からの声 .....	9
(参考) 平成 19 年度 広報活動実践講座アンケート .....	10

---

---

## 講座概要

---

---

### 1. 講座目的

広報担当者、広報実務を担当する者を対象に、企業広報活動に関する実践的なノウハウ・知識の習得を行い、広報担当者の育成を図る。

### 2. 講座内容

- ・社内情報の集め方
- ・リリースの書き方
- ・取材対応、メディアとの関わり方

### 3. 開催日時

平成19年11月30日(金) 10:00~17:00

### 4. 会場

CSAJ 会議室

### 5. 受講者

11名(内訳:CSAJ会員 7社9名、一般 2社2名)

---

---

## 講師所感

---

---

### 磯部 元志 氏 (CSAJ 広報研究会 メンバー) 〔株式会社メディア・ソリューション 代表取締役〕

企業の広報活動には、事業戦略の広報、危機管理広報、製品広報など様々なジャンルが存在します。いずれも、社内、社外のコミュニケーション活動がその下地になるのは言うまでもありません。

今回の広報セミナーでは、広報経験がそれほど豊富ではない方々を対象に、社内外のコミュニケーションがいかに重要かをはじめとする「広報の基礎」を学んで頂くこと、また、5W2Hの情報をもとに、会見風に様々な質問をして頂き、それをもとにリリースを作成してもらった実践メニューを経験してもらいました。

Q&A では、予想していた以上に活発な質問が交わされたのが印象的でしたが、限られた時間内でのリリース執筆には、やや四苦八苦する姿もみられました。

そのなかで、不特定多数の人に、読んでもらうには、5W2H をすべて網羅するとともに、短く的確な文章、自己満足に陥らない企業リリース作成がいかに難しいかを学んで頂けたかと思っております。

今後、CSAJ の広報セミナーでは、要望があれば、高度な危機管理広報などについても企画する用意がありますので、積極的なご意見を頂ければと存じます。

### 佐藤 宏之 氏 〔株式会社メディア・ソリューション 取締役〕

広報は営業です。フットワーク軽く、社内を縦横無尽に飛び回り、メディアの懐に飛び込み、売り込まねばなりません。

広報はクリエイティブな仕事です。社外の人に理解してもらうために頭をひねって、豊かな発想で会社を魅せていかねばなりません。

広報を支えるのは社内外の人脈です。社内への根回し、説得、相談、そして社外にも相談役が必要です。

黒子に徹して満身創痍で日々自社を PR している大手企業の広報担当者が、その会社の将来を担うエリート社員であるという理由がそこにあります。

今回はできる限り実践に即した話をさせていただきましたが、受講された皆さんが体を動かして初めて実践されたこととなります。また、会社がその行動を理解することを望んでおります。

---

---

## 講座内容

---

---

### 社内情報の集め方

自社内における情報収集の仕方について、説明を行った。

主な内容（項目）は、以下の通り。

- 広報の課題
- 情報流通経路
- 情報の一元化
- 情報の流動化
- 何を集めるか
- どう集めるか
- 何を伝えるか
- どう伝えるか
- 手段・ツール
- 広報担当者とは
- 外から見た広報担当者
- 対外広報のターゲット
- 広報活動の基礎

### リリースの書き方

リリースを作成する際の留意点やリリース作成方法等について、説明を行った。また、講義内容を踏まえて、課題を与えて、実際にリリースを作成する実践演習（演習後、その場で添削）を行った。

主な内容（項目）は、以下の通り。

- リリース作成・・・その前に
- ニュースリリースとは
- リリースが埋もれる！
- ニュースリリースの作成
- ニュースリリースの構成
- 必須項目
- 見出し
- リード
- ニュースリリースのポイント1
- ニュースリリースのポイント2

- ニュースリリースのポイント3
- プレスリリースを発信する内容
- 嫌われるリリース

### **取材対応、メディアとの関わり方**

メディアからの取材対応の仕方や、広報担当者としてのメディアへの関わり方について説明を行った。

主な内容（項目）は、以下の通り。

- ターゲットとするメディア
- 価値のあるネタ
- 準備できていますか？
- 取材の導き方
- メディアから取材の申込みが来たら
- 断り方
- 取材時の注意事項
- 取材後の対応

- ・ 名刺交換・受講者交流

---

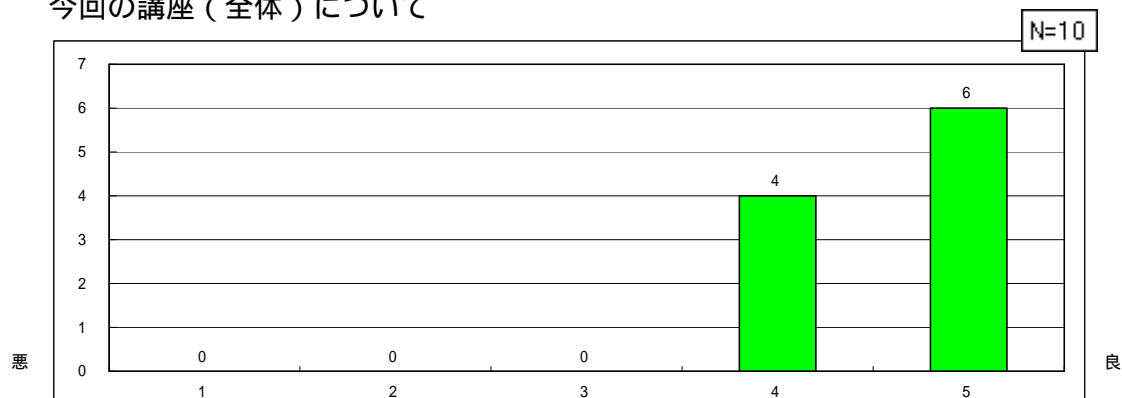
---

## 受講者アンケート集計結果

---

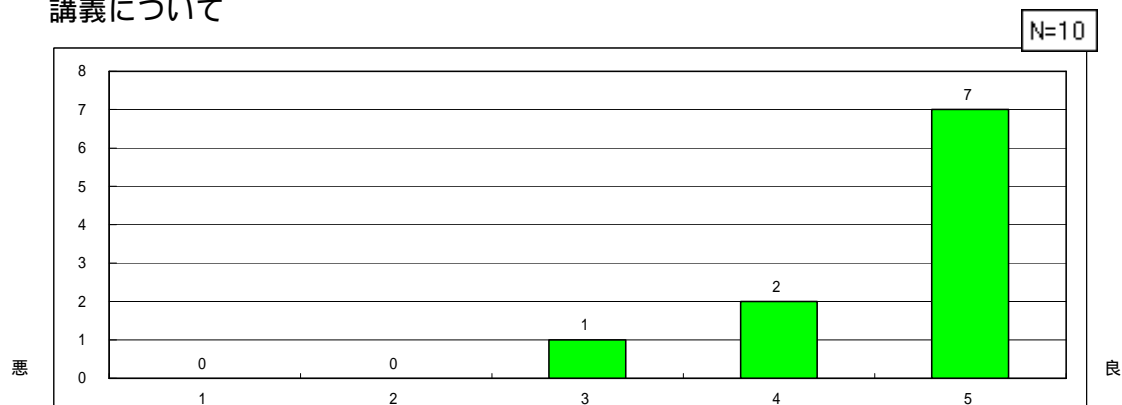
---

今回の講座（全体）について



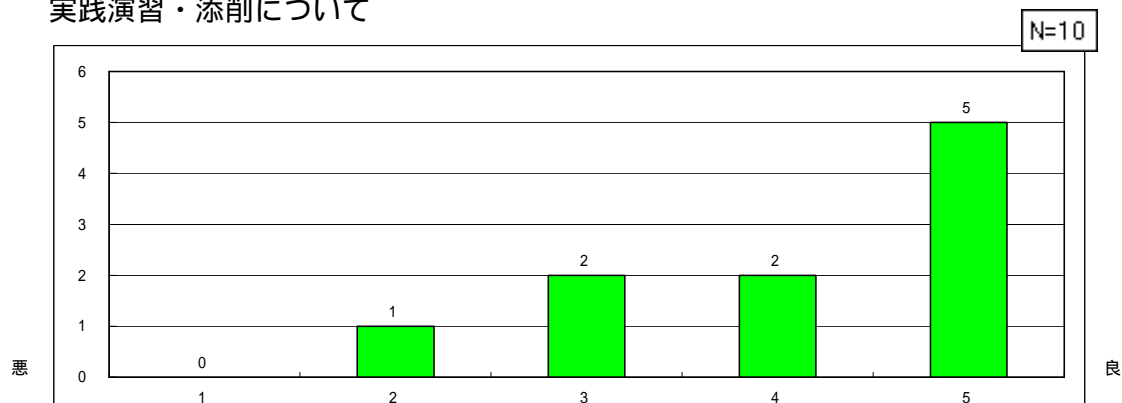
回答は、全て4以上、5は過半数の6名と、高い評価であった。

講義について



回答は、全て3以上、5は過半数の7名と、非常に高い評価であった。

実践演習・添削について



回答は2～5まで分散しており、半数の5名が、非常に高い評価であった。

---

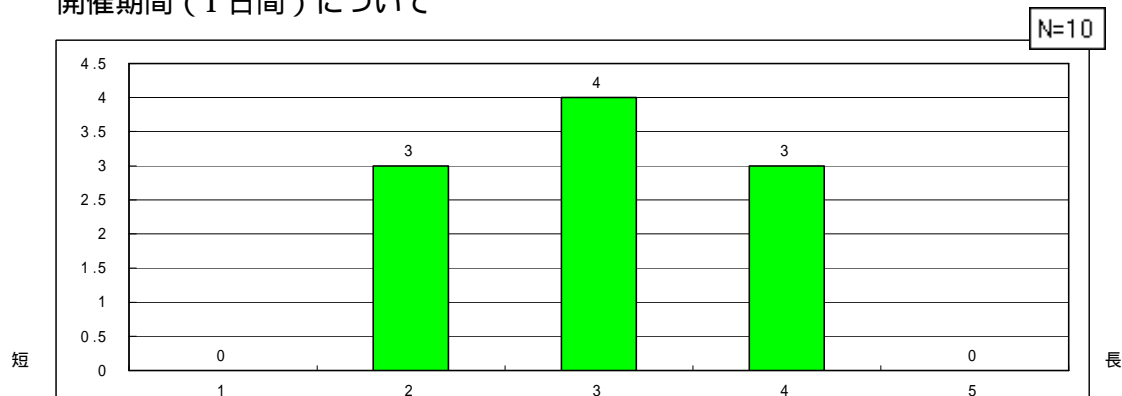
---

## 受講者アンケート集計結果

---

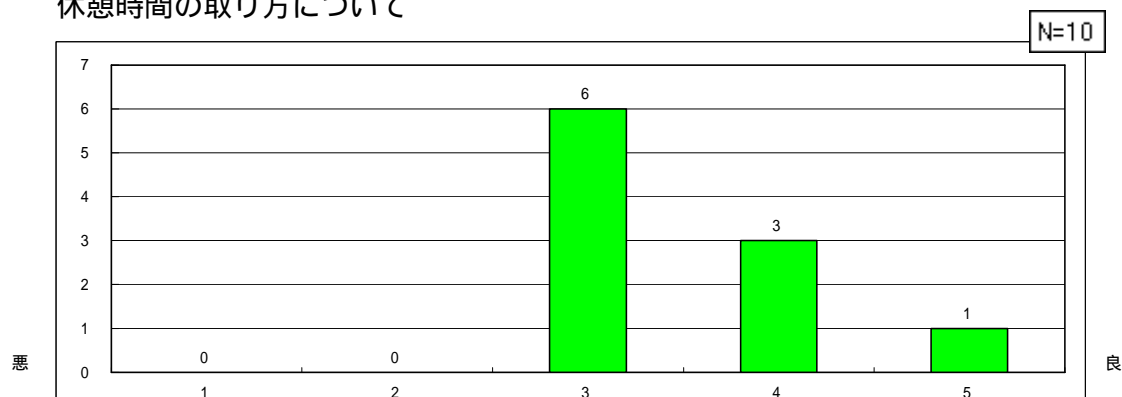
---

開催期間（1日間）について



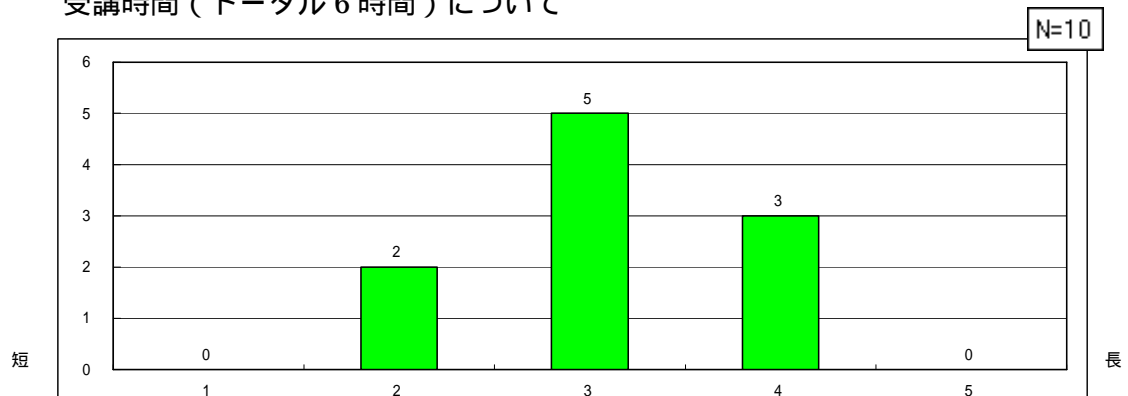
回答は、2～4に分散しており、3が4名、4が3名、2が3名と、意見が分かれた。

休憩時間の取り方について



回答は、全て3以上であり、適正との評価であった。

受講時間（トータル6時間）について

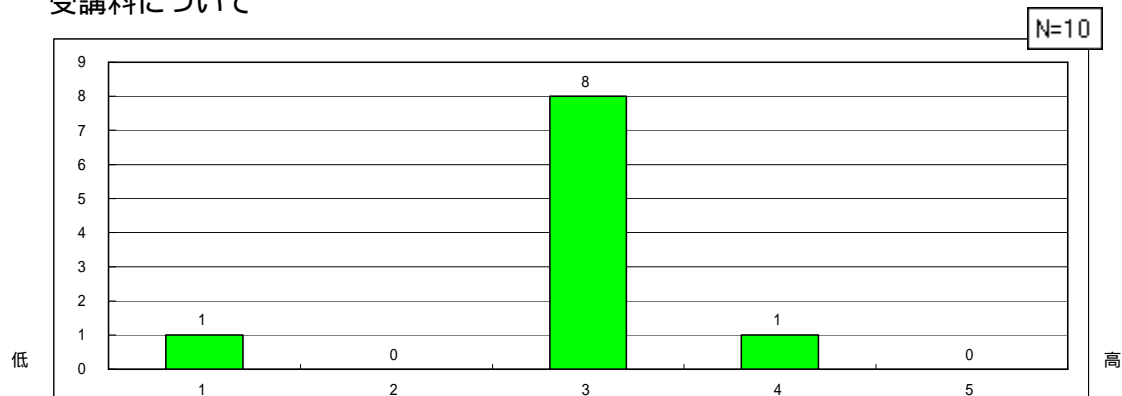


回答は、2～4に分散しており、半数が3であったが、2が2名、4が3名と、意見が分かれた。



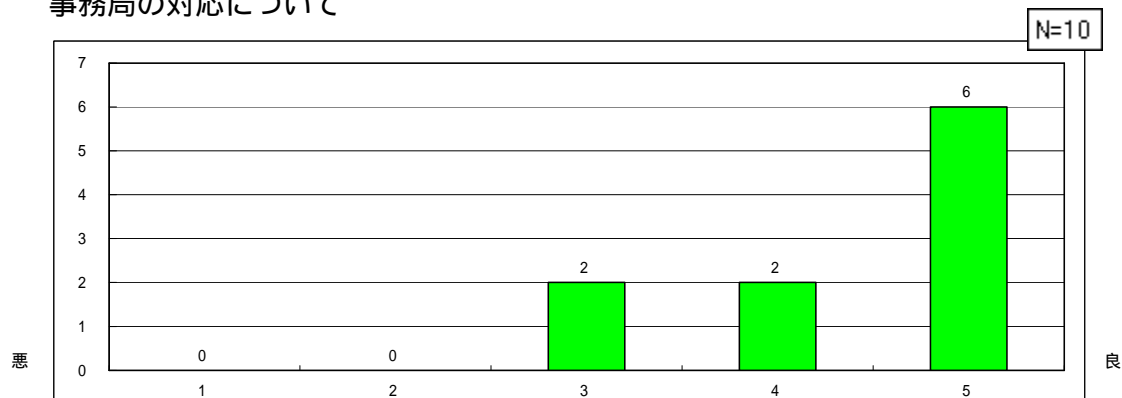
## 受講者アンケート集計結果

### 受講料について



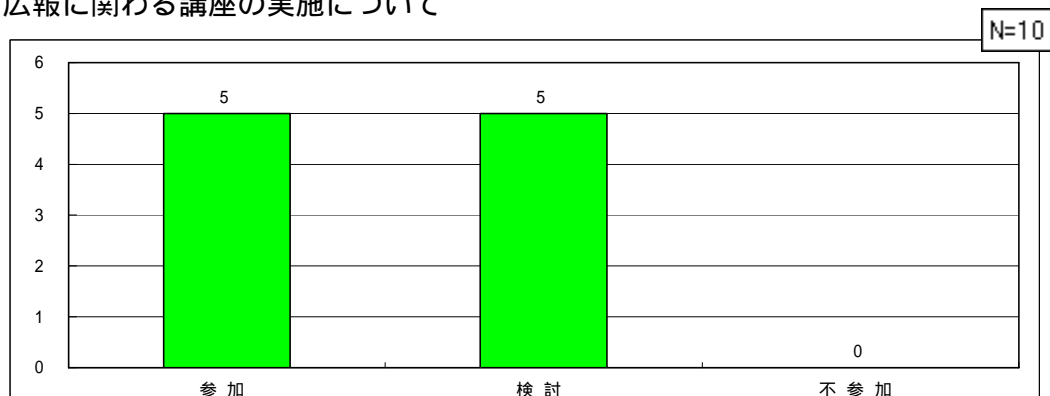
回答は1～4で分散しており、過半数の8名が3で適正であるという評価の一方、1と4が1名ずつあった。

### 事務局の対応について



回答は、全て3以上、5は過半数以上の6名であり、適正との評価であった。

### 広報に関わる講座の実施について



参加もしくは参加を検討するが、5名ずつであった。

---

---

## 受講者からの声

---

---

### 喜びの声

- ・記者が何を考え、どう動くのか、意外と人間くさい(温かい)手が有効だったり、ためになるエピソードを沢山聞いた。
- ・アポイントのコツなど、参考になった。
- ・資料以外の話(体験談・質問の時間など)も面白かった。
- ・講義内容も、具体的で分かりやすいものだった。
- ・広報初心者なので、仕事の全体像もいまいち掴めていなかったのが、今回の講座を受講して、非常に具体的にイメージできた。
- ・業界の話などは、ターゲットに合っている所もあり、面白かった。
- ・実践的でとても勉強になった。特にリリースの書き方は、今まで自己流だったので、赤を入れていただき、とても新鮮だった。
- ・まだまだやらなければいけないことがたくさんあるのだが、明確になってよかった。
- ・7月に続いて2度目になるが、復習も含めて、良い勉強ができた。
- ・とても話が解り易く、吸収が早く出来た。
- ・普段、添削してもらおうが、プロの意見を伺えたことが良かった。

### ニーズ・要望

以下のニーズ・要望があった。

- ・今回は広報活動の中で、プレスリリースの事例だったが、他のテーマでの講座も受けてみたい。
- ・実践は面白かったが、事前に宿題として作ってくるか、資料として、良い例、悪い例を頂いた上で実践するか、添削と一緒にニュースリリースの例として、見本を頂きたかった。今回のやり方だと、時間も足りず、残念だった。
- ・実践演習は、もう少し多い方が良い。
- ・欲を言えばもう少しステップアップした内容であっても良かった。
- ・1日は負担にならなくてよいが、しっかり学ぶには2日欲しい。

### 今後希望する講座

以下の講座ニーズがあった。

- ・より実践的な広報担当者講座
- ・実践的な広報講座。現場のエピソード
- ・社内情報共有の事例
- ・ビジネスマナー、話し方、プレゼン方法

## 平成 19 年度 広報活動実践講座アンケート

今後の事務局運営の参考にさせていただくために、以下アンケートへご協力をお願いします。

- ・各設問の適合する番号に をお付けください。
- ・無記名式ですので、忌憚のないご意見・ご感想をお寄せください。
- ・本アンケートは、集計し、その結果を CSAJ 広報研究会や広報活動実践講座実施報告書等で使用する場合がございます。

低・短・悪 ←———— 評価 —————▶ 高・長・良	自由記入欄
今回の講座（全体）について ----- (悪) 1      2      3      4      5 (良)	
講義について ----- (悪) 1      2      3      4      5 (良)	
実践演習・添削について ----- (悪) 1      2      3      4      5 (良)	
開催期間（1日間）について ----- (短) 1      2      3      4      5 (長)	具体的な期間をご記入ください
休憩時間の取り方について ----- (悪) 1      2      3      4      5 (良)	
受講時間（トータル6時間）について ----- (短) 1      2      3      4      5 (長)	具体的な時間をご記入ください
受講料について ----- (安) 1      2      3      4      5 (高)	具体的な金額をご記入ください
事務局の対応について ----- (悪) 1      2      3      4      5 (良)	

今回の広報活動実践講座に対するご意見・ご感想を、ご記入ください。

今回の広報活動実践講座のような広報に関わる講座を実施した場合、参加したいですか  
( 参加したい ・ 検討する ・ 参加しない )

今後どのような講座をご希望ですか(いくつでも)

ご協力ありがとうございました

## **平成 19 年度 広報活動実践講座 実施報告書**

---

平成 19 年 12 月 発行

発行 社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)  
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-2 秀和溜池ビル 4 階  
TEL : 03-5157-0780 FAX : 03-5157-0781  
URL : <http://www.csaj.jp/>

---

©2007 Computer Software Association of Japan